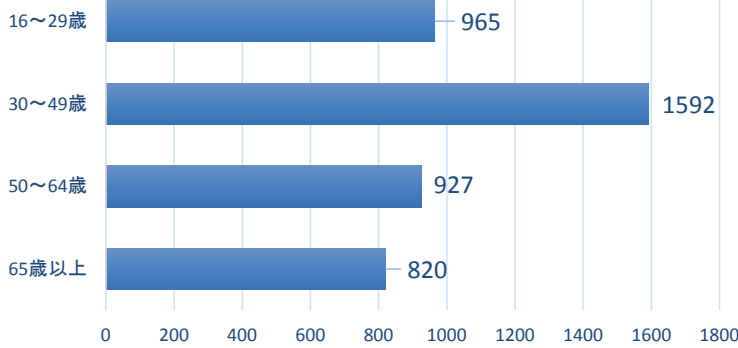




あかし交通安全だより 第9号

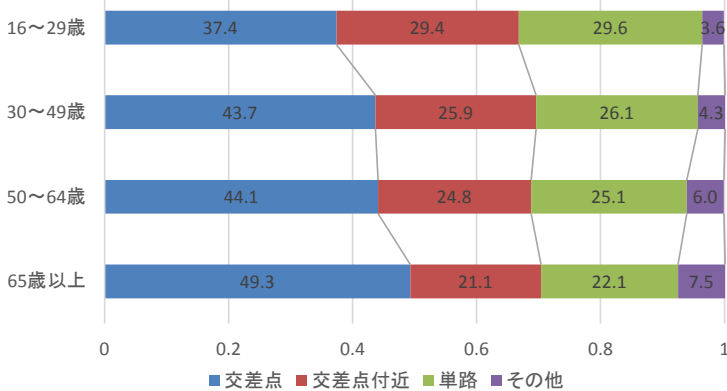
平成30年7月

運転者の年齢層別交通事故発生状況



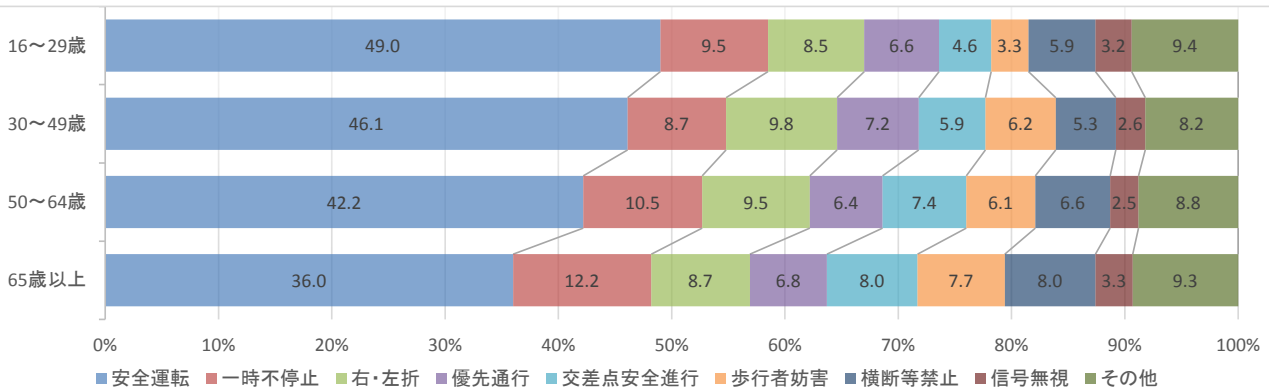
平成27年から29年までの3年間で、明石市内において4,916件の人身事故が発生しています。そのうち、ドライバーが自動車、自動二輪、原付等を運転し、第一当事者となった人身事故は4,304件で、年齢層でみると「30～49歳」が1,592件と最も多くなっています。

また、65歳以上の高齢ドライバーが第一当事者となった人身事故は820件で19.1%を占めています。



ドライバーが自動車、自動二輪、原付等を運転し、重い第一当事者となった人身事故の4,304件を道路形状別でみると、「交差点」が1,869件と最も多く、次いで「単路」が1,115件、「交差点付近」が1,098件となっており、「交差点及びその付近」が2,967件と約7割(68.9%)を占めています。

年齢層別でみると、「交差点」での発生率は高齢者が49.3%と最も高く、年齢が高くなるほど高くなっています。



違反別でみると、65歳以上の高齢ドライバーは、「一時不停止」、「交差点安全進行(交差点を進行する際の安全不確認など)」、「歩行者妨害」、「横断等禁止(道路から道路外のお店に入る際の右左折、道路上での転回など)」の占める割合が、他の年齢層に比べ高くなっています。

明石市・兵庫県明石警察署

交通安全教室をご希望の方は
明石警察署交通総務係
078 - 922 - 0110(内線413)まで